

こんにちは議会です

議会だより

ぱいぬしま No. **51**

たけとみちよう

2025



CHECK!!

- 令和7年第2回議会(6月定例会)ほか…………… 2
- 出前講座・所管事務調査…………… 3
- 6月定例会—般質問…………… 4~15
- 世界遺産センター関連…………… 16



新聞読例

賛成 **10** : 反対 **1**

討論では、「観光振興と町民の暮らしの調和を図る条例は意義がある。」

「島間交通の充実を」「使途を明確に示し、

観光客と地域を共に守る意識を育む機会に」との賛成意見があった。
一方、反対意見では、観光事業者との合意形成不足や、税負担による観光客減少を懸念する指摘があり、
「どのように観光客や町民に還元されるのか明確に示されていない」などの意見があった。

令和7年第2回6月定例会は、6月6日から6月13日までの8日間の会期で開かれました。
前泊町長から報告4件、承認6件、議案20件、が提出され審議されました。慎重審議の結果、全議案について可決されました。

令和7年度 一般会計補正予算（第1号）関連 一部抜粋



Q：町民バス（石垣市内）委託事業の内容は？

A：離島ターミナル～病院間を1日2便、無料で運行予定。現在、業者や駐車場所など石垣市と調整中。法令や運転手の確保状況などを踏まえて準備を進め、運行業者・石垣市と調整し、交通関係者会議での報告後、速やかに実施したい。



Q：農林水産物条件不利性解消事業で町単独負担が増えた理由は？

A：交付要綱の変更で補助対象外となった項目を、町が独自に支援するため。

Q：婚活イベントの実績と目的は？前回の効果検証が済んでいない段階で、次回予算を計上していることについてどう考えるか？

A：昨年度は6組がカップル成立。今年は小浜島での開催を予定。地域の文化継承や地場産業の担い手育成も目的として、ふるさと納税の財源を活用する。現在は効果検証中だが、成功体験もあり、検証結果を踏まえつつ次回イベントに向けて準備を進めていく。

Q：離島ターミナル（旧ヤマネコツアーズ跡）に設置予定の総合案内窓口の役割は？インバウンドに対する案内内容や対応方法は？

A：観光客向け案内所を、訪問税導入前の準備として、町民待合スペース・休憩施設も併設予定。観光協会と調整中。英語等の多言語対応スタッフの配置を調整中で、将来的にはDXによる自動翻訳機などの活用も検討する。

Q：黒島複合型福祉施設の実施設計の内容は？

A：施設構造等の仕様は今後の実施設計で調整予定。現時点では未定。

Q：生ごみ処理機購入補助金の内容と補助対象は？

A：家庭用コンポスト容器（上限3千円・20個）、電動式処理機（上限3万円・30台）に対し、購入費の2/3を補助予定。合計96万円を計上。



Q：新城島の設置予定の民謡碑のQRコード動画は現地に行かなくても見られるのか？観光客の少ない地域に設置する意義は？

A：QRコードからYouTube動画に接続し視聴可能。町内外の人に文化を広める手段として整備する。民俗芸能を継承し身近に感じてもらうことが目的。新城島の公民館敷地内に設置し、民謡にゆかりのある場所から文化の魅力発信を行う。

Q：水産業費の工事内容は？

A：海人公園の遊具が老朽化しており、日除け付きの新遊具を設置するもの。

Q：学校の電子黒板は1台60万5千円と高額。大型テレビで代替できないのか？既存の電子黒板の利用状況と入れ替えの必要性は？

A：今回導入予定の電子黒板は、モニター・PC・ウェブカメラ・書画カメラが一体化したモデルで、教員のICT活用・負担軽減を考慮して選定。既存機は接続機器が多く不便。今回のモデルは一体型で、デジタル教科書への対応も可能。不具合の出ている端末の更新するため導入。

Q：黒島小中学校の外壁修繕は今後も修繕対応で進めるのか？建て替え計画もあるのか？

A：外壁修繕は緊急対応であり、危険箇所の除去と安全確保のために実施。将来的には老朽化が著しいため、耐力度調査を実施し、改築も視野に計画を検討していく。

Q：黒島・東筋集落道路整備990万円の委託料は工事含まれるか？

A：東筋集落の10路線のうち7路線分の詳細設計を行うもので、工事は含まれていない。

▼You Tube



『議会って何をしているの?』 竹富町議会出前講座

「議会って何をしているの?」「議員って、普段どんな活動をしているの?」そんな疑問にお答えするため、竹富町議会では学校を訪問して、議会の仕組みや役割を分かりやすくお伝えする「出前講座」を実施しました。
今回は、令和7年1月29日(水)に、西表中学の1年生から3年生を対象に出前講座の様子をご紹介します。



当日は、上勢頭議員、大浜議員(広報委員会)が登壇し、議会の基本的な仕組みや、実際にどのような活動をおこなっているのか、どのような議論をおこなっているのかを、スライドや実例を交えて説明しました。

生徒の皆さんは真剣な表情で耳を傾け、「議会で地域の課題が話し合われていることを初めて知った」といった声や、「議員さんが直接話してくれて、親しみがわいた」という声も聞かれました。

「議会のことをもっと知りたい」「地域の課題を議員に直接聞いてみたい」など、そんなときは、ぜひ出前講座をご活用ください。出前講座のお申込み・問い合わせは → 竹富町議会事務局(Tel:0980-82-3748)までお気軽にどうぞ!



鳩間島・西表上原(港湾)・波照間島 所管事務調査

総務財政委員会



鳩間教員住宅



上原港湾施設

経済委員会



波照間海水淡水化施設



波照間農業集落排水施設



調査しました!!



各報告書はこちら





一般質問

下水・ゴミ処理を強化し、安心して来訪者を迎えられる島に

問 竹富島の浄化センターで下水があふれた回数と原因、また今後の改善計画を伺う。

上下水道課長

令和6年度は2回のオーバーフローがあり、観光シーズンの水量増加や、油やトイレレットペーパーの流入が要因。施設は現在180トンの処理能力で、90トンの増設計画が進行中。令和9年頃の完成見込み。

要望 下水処理が整っているからこそ美しい海が守られる。持続可能な観光地としての環境保全に力を入れてほしい。

問 観光インフラの拡充として、ゴミ箱やトイレ設置の具体的取り組みを伺う。

自然観光課長

観光基本計画に基づき、各担当課や地域と連携し、最適な場所への整備を進めている。

問 ペットボトル削減に向け、マイボトル利用の促進策はあるか。

自然観光課長

西表島にて環境省のモデル事業で、観光施設でのマイボトルレンタルや給水サービスの実証実験を実施。今後の展開を検討中。

凸凹道路を改善し、安全で快適な観光・生活動線を確保すべき

問 生活道路であり観光動線でもある道の凸凹が危険な状態。3月議会で「浸透性の良い砂や施工方法の調査研究」との答弁があったが、具体的な取り組みは。

まちづくり課長

タイやシヨベル等で集落支援員が対応しているが全体には及ばず。旧保育所北側などの排水マスに土砂が堆積しており、撤去作業を順次実施中。

**石垣市内での
町民バス運行により
利便性の向上を**

問 病院だけでなくスーパーへの町民バス運行も求められているが、対応は。

政策推進課長

離島ターミナルや八重山病院の施設管理者、運行事業者と調整中。住民の利便性向上の観点から、途中のスーパー等も経由予定。

問 冬場の欠航率が高い鳩間航路について、多機能型貨物船の定

期運航と買い物代行の仕組みは可能か。

政策推進課長

複数案を検討中で、ダイビング組合の船をチャーターする案など調整中。地域おこし協力隊や集落支援員の活用についても可能性を探っている。

**オンライン申請を
拡充し、役場に行かず
手続きができる町に**

問 電子申請や決裁、テレワークなど、行政業務の効率化はどこまで進んでいるか。

DX課長

LINEを活用したオンライン申請を構築中。高齢者への支援として地域おこし協力隊が各島を巡回し、デジタルサポートを行っている。

問 通院渡航費・町外派遣費補助金申請を竹富町LINEで行えるようにできないか？

福祉支援課長

技術的には可能であり、実態に応じた対応を検討中。

要望 スマホ一台での申請を可能にし、誰もが手軽に行政サービスを受けられる体制づくりを進めるべき。

温暖化対策は子どもたちの未来を守る町政の柱に

問 各地区の学校、複合型福祉施設、防災拠点、公民館、診療所への太陽光発電と省電力設備の導入の進捗は。

総務課長

本庁舎にはPPAモデルで太陽光パネルを設置し、令和6年6月から稼働中。今後も段階的に公共施設への再生可能エネルギー導入を進める。

問 町として温室効果ガス削減目標の達成に向けた決意を問う。

町長

太陽光発電の導入やEV車導入、波照間島での再エネ先行導入などに取り組んでおり、国や企業と連携して目標達成を目指す。一人ひとりの行動と町全体の努力で温暖化対策を進める。

要望 計画だけでなく実行と進捗の見える化を求め、町民若者が将来に希望を持てる政策推進を。



か や も と し ん い ち
加屋本 真一 議員
 ◀詳しくは動画を Check!!

スバウィ! 町政を問う!!
6月定例会

一般質問

波照間航空路について

問 波照間飛行機、搭乗率は。

政策推進課長

就航してこれまでの搭乗率は35.7%0.7%増えている。

問 空港から集落までの2次交通は島民しか利用できないのか。

政策推進課長

原則は島民のみ、車が空いていれば観光客も乗れる場合もある。

多機能型貨物輸送船進捗

問 10月に引き渡し試験運転を行い11月には運行開始を予定だが、JA丸が7月いっぱいまで終わりと聞いたが3ヶ月の空白期間の対応は。

政策推進課長

民間の船会社と協議しながら調整していくが、なければ郡内外から貨物船のチャーターを予定している。

第1次産業について

問 波照間製糖集中脱葉施設導入に向けての取り組みは。

農林水産課長

作業部会を設置し具体的な事業計画の協議と補助事業の採択に向け取り組んでいく。令和9年度整備を目指し作業していく。

問 石垣は台湾、韓国から直行便が飛んできているが、各島々港で口蹄疫対策の実施状況は。

農林水産課長

6地区の離島港湾で実施している。一日1回から2回。

問 口蹄疫が入ってきた対策は。

農林水産課長

県と協力しながら防除対策していく。

問 畜産輸送費補助の取り組みは。

町長

購買者の旅費や鹿児島までの輸送費が購買者の大きな負担となつてセリ値にも影響が出ている。肥料コストや輸送費の高騰で経済的な負担が増大し、厳しい経営状況にあるので農家や購買者の軽減など、国に新たな政策ができるよう要請してきた。

問 ヤギの耳標は配ったがどうやって耳につけるのか。

農林水産課長

あける道具は出張所にあるので、それを借りて、ご本人で取り付けをお願いしている。

小浜ごみ焼却の進捗

問 小浜島ごみ焼却実証実験の進捗は。

まちづくり課長

2ヶ月故障で運転していなかった。11月末まで実証実験を延長。

問 実証しての島民の声は。

まちづくり課長

分別の種類が減り、生ゴミの処理もできることから、家の中も衛生的になったなど、ゴミの出し方について満足しているという声が多かった。

問 小浜で導入された場合何基必要か。また導入順は。

まちづくり課長

4基から5基必要。焼却炉の劣化具合などを考え優先度の高い島から順次導入していく。



波照間淡水化施設について

問 先月から節水協力のアナウンスが流れているが。

上下水道課長

5月23日ごろから漏水とみられる不具合が発生していて、浄水槽内の水量が急激に減っている。高さ2.2メートルの浄化槽だが75センチ以上は水がたまらない状況。水中ドローンなど使い漏水箇所など調査し原因究明と対策を急いでいる。

波照間ムシャマ公園について

問 公園で遊ぶ子供たちがいるが、遊ぶ遊具が少ないが増やす事ができないか。また、屋根も設置できないか。

農林水産課長

遊具の施設が一部、民有地も含まれており関係課と調整し財源の確保など含め検討していく。

仲間港について

問 水道施設がなく、船など洗う時に支障がでているが整備予定は。

まちづくり課長

県はあらたに水道設置の予定はないと回答をいただいている。

問 町単費でもできないか。

まちづくり課長

施設が県の所有になっているのでこれもふまえ協議して予算確保に努める。

離島甲子園について

問 各島々の野球をしたい中学生が集まって竹富町選抜チームとして出場することはできないか。

社会文化課長

野球を通して、島と島の交流を図ること。そして、新たな人間形成や、健全な青少年の育成を促進すること、将来を通して離島地域の進行に与えることを目的としているので、是非参加してほしい。



一般質問

観光整備について

問 大見謝ロードパークのトイレは整備できたが、駐車場が狭く危険な状態。大型バスも利用できる駐車場整備計画はあるか。

自然観光課長

今後、町としてできる整備を進め、県に対しての要望と地域とも連携し改善していきたい。

問 整備されたトイレの管理体制は。

自然観光課長

町が管理主体。清掃や一部メンテナンスは地元委託予定。

問 観光客に分かるようなトイレ表示はあるか。

自然観光課長

施設の多言語対応や環境に配慮した施設であることの掲示を検討中。トイレである旨も含めた表示を整備していく。

問 のぼるざき駐車場の再整備計画は。

町長

県に確認したところ再整備予定はないとの回答。ただし町としても絶景ポイントであり、再整備を県に要望していく。

問 ヤマネコ発見の地駐車場隣接のゲートがロープで固定されており、観光客が通行止めと誤認している。改良できないか。

農林水産課長

イノシシ侵入防止用ゲートであり、テキサスゲート(野生動物侵入防

止用グレーチング)の導入を検討中。数か所を対象に設置可否を調査している。

問 観光整備には財源が必要。訪問税の導入は急ぐべきでは。

町長

県の整備予定がない中、町が責任を持って整備していくには訪問税は不可欠な財源。住民の生活と観光の満足度向上のためにも早急に導入すべきと考えている。

仲間港の安全・利便性を高める整備を進めるべき

問 仲間港の駐車場整備は昨年度に着手され、違法駐車が減少したが、今年度の拡張・舗装の予定は。

まちづくり課長

令和7年度も引き続き県と協議を進め、拡張整備に向けて検討していく。今後要望を継続したい。

問 仲間港ターミナル外側の木製デッキと床材が老朽化し、立入禁止区域もある。修繕の予定は。



まちづくり課長

老朽化は把握しており、港湾の安全性を確保するため、修繕を含めた対応を今後検討する。

問 仲間港では高潮や波による冠水で車両被害が生じている。護岸かさ上げなど県の整備計画は。

まちづくり課長

以前、県による防波堤・防潮堤の整備構想が示され、住民説明会も実施された。現在の進捗は未確認だが、計画自体は継続しており、改めて早期整備を要望していく。

問 仲間港南側にあるパレット置き場周辺に、放置車両や建築廃材などが増えている。対処できないか。

まちづくり課長

現状の把握に努め、関係機関と連携して対応を検討する。

要望 不法投棄防止のために監視カメラの設置や車両ナンバーの確認を行い、港周辺の美化と安全を図るべき。



高齢者の通院渡航費補助、簡素化・対象拡大を

問 高齢者の通院に伴う渡航費補助の対象や条件は。

福祉支援課長

令和7年4月から、対象年齢を80歳以上から75歳以上に引き下げ、入院・通院・介護サービス利用も補助対象にした。要件を緩和して制度を拡充している。

要望 申請が煩雑で利用しづらいという声が多く、申請簡素化など高齢者に寄り添った制度設計が必要。

問 石垣市のように高齢者がバスに無料で乗れる「シルバーバス」の導入は。

町長

町内でも要望があることは承知しており、今後のバス運行に合わせ、高齢者の割引制度も検討していきたい。

要望 医療や交通負担が原因で石垣市へ移住する高齢者もあり、島で暮らし続けるための支援が不可欠。医療・介護・移動支援の総合的整備が求められる。



みやらみちこ
宮良 道子 議員

◀詳しくは動画を Check!!

町政を問う!!
6月定例会

一般質問

多機能型貨物船と牛の輸送

問 農協丸が7月撤退し多機能型貨物船は11月運行とありその間の民間貨物船利用とあるが、農協丸の7月撤退延期を要望できるか。

政策推進課長

農協丸の船検証が12月7日まで、それを逆算して空白期間が生じた。JAも船員の雇用問題や農協丸を譲渡することで延期は厳しい。

問 民間貨物船は小型で牛運搬車両等大潮での問題で欠航が多い状況でスケジューリングに確保できるか。黒島は9月だが、他の地区は八重山家畜市場の8月9月10月の3ヶ月が問題。郡外から借りて対応する貨物船の用途は。

政策推進課長

民間事業者は定期船で農協丸は不定期船の為定期船が優先。ただJAも農林水産物や資材運搬があり十分協議して運行。引き続きスムーズに出来るように調整したい。

人糞処理と牛糞堆肥化とサンゴ保護について

問 黒島はバキュームカー1台で1回15件分の汲取り。毎年約40件の申し込みバキュームカーで

搬入する。竹富島浄化センターの小さい処理施設は出来ないか。また今後業者が来なくなったら場合、町のバキュームカーで回収する考えは。

まちづくり課長

現在黒島に汚泥処理施設の設置計画はない。今後は多機能型貨物輸送船にてバキュームカーを運搬し西表島の汚泥処理センターに運び処理できるよう取り組み業者と調整を行う。

所感 当初から黒島小浜の汚泥をバキュームカーで西表島汚泥処理センターに運ぶ計画だったが1台のバキュームカー(1件半分の汚泥)をその都度西表へは輸送費もかなりで採算が合わない。町は合併浄化槽設置補助で終わりでなく黒島・小浜においては最終処理施設が必要と思う。

問 牛は1日約20kgの糞をし、黒島3000頭の牛が365日糞をすると年間2万2千トンの牛糞。そこから栄養塩が海に流れサンゴの育成を阻害している論文もある。黒島に堆肥施設はできないか。

農林水産課長

黒島では畜産農家の協力で琉球大学の指導のもと堆肥作りの実証試験を進め合わせて採草地の土壌分析も実施し最終的に黒島の土壌特性に適した堆肥を目指している。これまでの実証試験の成果を踏まえ農家と協議を重ね進めて行く。

大原庁舎と船舶交通

問 竹富町女性連合会の大会が波照間島で行われ昼の便に乗船できず夕方からの大会開催となる。黒島は西表島日帰りの大会や催しがあった場合、石垣に渡っても船便がなく参加できない。西表島は石垣港で満席となり乗船できず家に帰れないケースもある。今後、大原庁舎や訪問税導入での島間交通はどうなるか。

政策推進課長

島間交通にかかる問題は船員不足があり船会社も対応できないところがある。

問 石垣を起点は観光客にも負担。訪問税を払って竹富町に入り竹富町の島々を移動する際は島の港でチケットを購入し島間交通で隣の島に行く。町内から出ないことで町内の宿泊が増え、また町内の催しに町民が参加しやすい。訪問税導入を機に島間交通の要望交渉はできないか。

町長

島間交通は今後情勢を見て船員が確保できた場合、民間の船会社にも頑張ってもらい、もう一つの可能性は訪問税の財源を活用しながら民間の船会社とは別の何かルートができないか等、様々な施策展開は可能。訪問税の使途案を出し観光も町民の利便性も確保できればと考えている。

問 大原庁舎の規模は。

政策推進課長

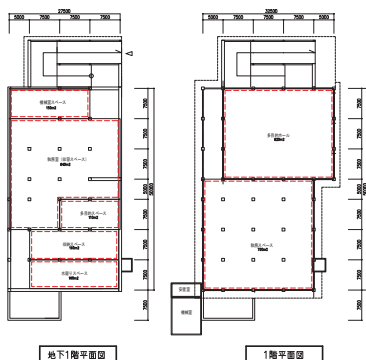
庁舎機能は地上1階・地下1階も含め700㎡予定。特定臨時避難施設シエルターが1375㎡で集会スペースは700㎡。

問 昨年の3月地下駐車場シエルターから今年3月シエルター自体が執務室になったのは。

町長

地下駐車場シエルターは国のシエルターの定義付けがされてなかった。国のシエルターの定義が固まったところでの変更。地下駐車場は台数制限や耐圧等の制限があり平時から使えるよう変更をした。

要望 地下避難場所シエルターを区切り執務室として常時執務すると机や資料も溜まり果たして避難場所として使えない。それより年数回しか使わない稼働式の議場であるなら避難時にはすぐに避難できる。地下シエルターこそ議場であるべき!今後島間交通も始まれば議員も集まりやすく長い目で見て大原庁舎には議場を置くべきだ。





一般質問

町民へのサーチャージ負担軽減を!

問 町民船賃は、県、町からの補助金で約60%補助していただいていいる。しかし、近年の燃料価格高騰でサーチャージが加算され町民の大きな負担となっている。現在のサーチャージ分の補助内容は。

政策推進課長
現在サーチャージは3段階。県と町が1段階ずつ補助して町民負担は1段階となっている。

問 県内の離島町村の航路は公営の1社単独航路で、燃料価格高騰による赤字分は、国、民間2業者が運航しているため、国、県による赤字補填の対象とならず、サーチャージ分は直接住民が負担している。この制度の不正を町としてどの様に認識しているか。また制度の見直しについて国、県に訴えるべきでは。

政策推進課長
あらゆる機会に、制度の見直しを訴えている。

問 制度の見直しには、時間がかかる。サーチャージ分は、別枠で支援策を講じるべきでは。

町長
国、県に対して、財政支援を訴えていく。町としては、物価高騰対策交付金を活用して支援できるか検討している。

介護人材確保は喫緊の課題

問 介護人材の確保が厳しい中、現在働かれている職員も高齢化が進んでおり、事業の継続を不安視する声もある。団塊の世代の方々も多く、今後介護サービスの利用が増えることは確実。今後の見通しが示されないことに大きな不安を抱えている。介護人材確保の取り組みを伺う。

福祉支援課長
介護初任者研修を行っている。

問 町では、保育士不足解消に町として積極的に取り組んで成功した実績がある。この取り組みを介護職員確保に活かす考えはあるか。

福祉支援課長
保育士は、町の職員の立場にある。介護職員は民間の事業所。その課題がクリアできれば可能。

問 町民が困っている。民間だからではなく、町も協力して取り組むべき。厚労省が推奨する介護型地域おこし協力隊制度を活用して介護人材の定着する仕組みを作るべきでは。

福祉支援課長
他自治体で成功している事例がある。研究しながら前向きに検討したい。

要望 離島に暮らす住民も、介護施設が多く所在する地域住民と同様に介護保険を負担しているが、離島では十分な介護サービスが受けられないという、地域格差が生じている。国、県へ格差是正に向けて強く働きかけていただきたい。

生コンプラント再開は喫緊の課題!

問 小浜島、西表西部で生コンプラント事業者が撤退したこと、地域振興、建設業に大きな影響が出ている。町としてどの様に認識しているか。

まちづくり課長
関係者への要請や意見交換を行ってきた。整備に向けた進展はない。

問 地域は困っている。小浜島の生コン撤退の話が出て3年経つ。もっとスピード感をもって取り組むべき。

まちづくり課長
今後、公共工事や民間住宅整備には生コンが必要。喫緊の課題として関係団体と情報の共有を行いながら進めていきたい。

問 生コンプラントが撤退したことで、石垣島に比べて単価が2〜3倍になっている。今後、公共

工事を進めていくうえで財政、予算編成にどのような影響が出るか伺う。

まちづくり課長
プラントがなければ、石垣から運ばなければならないので、海上輸送費が上乗せされる。工事費が上がるので町の負担分も確実に増える。

問 町がプラントを設置して、指定管理を業者をお願いして運営してもらう考えはあるか。

町長
公共工事、民間工事にも影響が出ている。今の提案も含めて様々な検討をしている。

問 移住定住、若者のUターン等、地域活性化に大きな影響がある。離島特有の課題として、国、県に対して強く要請するべき。

町長
住環境の整備は大事だと考える。中身を精査して、財政面の要望をしていきたい。



さき えだ ゆう じ
崎 枝 裕 次 議員

◀詳しくは動画を Check!!

ズバリ!! 町政を問う!!
6月定例会

一般質問

農林水産物 県外出荷促進事業の 制度変更と町の対応は

問 今年度から制度が変更された、内容は。

農林水産課長

本年4月から、沖縄農林水産物県外出荷促進事業は制度改正がなされ、補助対象がB to Bのみとなった。これまで含まれていたB to Cは対象外となっている。

問 農家への説明や申請の受付はいつ頃行われる予定か。

農林水産課長

事業の手引きが届いたばかりで、現在精査中。7月中旬以降に説明会を行い、申請受付を行う予定である。申請は4月分に遡って行うことが可能。

問 町独自の支援策について、どのような内容か。

農林水産課長

B to Cに対する支援については、制度実施までの期間が短く、生産者の対応が間に合わない現状があった。緊急性があるとして、今年度に限り町独自の予算措置として対応していく。

問 離島の物流に関する不利性について、町としての考えは。

農林水産課長

本町の地理的不利性の実態に見

合った新たな制度の構築を求め、引き続き国や県に要望していきたいと考えている。



消防防災体制の強化と デジタルツールの 活用について

問 地域情報共有アプリの機能と活用構想について伺う。

防災危機管理課長

防災情報の一斉配信と、公民館向けの情報共有アプリの導入を行った。アプリには、電子掲示板、グループチャット、共有カレンダーなどの機能があり、公民館運営のデジタル化と、防災情報の即時配信・確認が可能となっている。

問 このアプリは、消防団の情報共有手段として活用できるのか。

防災危機管理課長

公民館共有のアプリだが、消防団員も入ることは可能。別に消防団員だけの情報共有アプリも、今後検討していきたいと考えている。

問 電波不感地帯の対応として、宇宙Wi-Fiや無線の導入検討はあるか。

防災危機管理課長

通信環境の問題については、Wi-Fiや衛星機能、無線なども用いながら、消防団員のために導入できればと考えている。

機能別消防団制度と 人材確保について

問 機能別消防団制度の検討状況と課題について伺う。

防災危機管理課長

機能別消防団については、現在も検討中である。山岳救助や海岸事故、搬送などに対応できるよう、各分団の意見を聞きながら進めていく。

問 新規入団促進のため、中型免許など資格取得支援の検討はあるか。

防災危機管理課長

消防学校への派遣や、研修開催の調整を進めている。資格支援については、ドローン操縦や中型免許の取得支援も必要と考えており、前向きに検討していく。成り手不足の地域では公募も含めて対応していきたい。



高齢者支援の政策充実と シルバー人材センター について

問 高齢者団体への活動支援制度の現状と見直しの考えは。

福祉支援課長

30名未満のクラブには年3万円、30名以上には5万8千円を補助している。補助だけでは足りないという声もあり、今後どのような支援ができるか考えていきたい。

問 石垣市で行うシャトルバス事業を高齢者の大会送迎などに活用できるか。

政策推進課長

まずは現在準備中の事業の仕組みを動かし、その中でどう活用できるか検討していく。

町長

子どもたちの大会と同様に、公用車の貸し出しも検討する。運転が難しい場合は、職員が同行して支援できる仕組みも考えていきたい。

問 高齢者による施設管理や清掃業務の委託、シルバー人材センター設立の可能性は。

町長

シルバー人材センター的な仕組みは諦めておらず、前向きに取り組んでいく。公共施設の清掃や配布物の配達なども含め、地域の高齢者が関われる形を検討していく。



An aerial photograph showing a large, rectangular, flooded agricultural field, likely a rice paddy, surrounded by dense green forest and a road. The field is divided into several smaller rectangular sections by narrow paths or ditches. The water in the field is a light, milky color, reflecting the sky. The surrounding forest is a deep green, and a road is visible on the left side of the image.



おおはま かずまさ
大浜 一将 議員
◀詳しくは動画を Check!!

スバウィ! 町政を問う!!
6月定例会

一般質問

物価高とお米の地産地消とライスセンター整備

問 島の小売店の物価高は何が原因と考えているか。

政策推進課長

輸送コストが高いことが原因。

問 輸送コスト高の対策の検討は進んでいるか。

政策推進課長

高速船の場合は対象品等の管理が難しい。貨物船の場合は管理がしやすいので、貨物船の補助ができないか小売店とも協議をしている。

問 竹富町の総合計画の第10次基本計画にも「地域の生活インフラとしての商店を存続させます」と明記されている。しっかりと取り組んでいただけるか。

政策推進課長

総合計画にも、ふるさと納税の使い道にも合致している。より効果的な補助メニューも含めて整次第速やかに事業を展開していきたい。

問 島のお米農家さんは安くでお米を出荷し、島の人は高いお米を食べている。この課題の解決のためにはライスセンターが必要だと考えるが、ライスセンター建設へ取り組んでいけないか。

町長

地元の農家さんや組合で運営できるなら小規模でもライスセンター建設をスピード感を持って取り組んでいき、町内での地産地消やそこから出る穀殻等を循環型農業に活用していきたい。



鳩間島の怪我人の対応と上原―鳩間間の船の運行

問 鳩間島では医療体制が大変厳しい。住民が安心して暮らす為にお医者さんが来て頂けることがベストだが、せめて看護師さんに来ていただけるようにできないか。

健康づくり課長

看護師に24時間体制のストレスをかけてしまつては続かない。その看護師をサポートする方や、住民自ら応急手当ができるようなスキルの底上げも必要。

問 上原―鳩間間の船の運行に向けた現状はどうか。

政策推進課長

現在ダイビング組合やそれ以外の人からも協力したいとの話がある。話し合いはしっかりと進んでいるので早めに行けるように取り組んでいく。

給食の賄い材料費を当初予算での拡充を

問 毎年当初予算から補正で賄い材料費を増額して頂いていることはありがたい。これがある程度当初予算に盛り込むことはできないか。

教育委員会総務課長

財政全体的なバランスもある為今後補正で対応していきたい。

町内の様々な課題について

問 鳩間の体育館がとても滑り天氣が悪い日は体育館でのスポーツができない状態となるが改善できないか。

教育委員会総務課長

通気口のシャッターを修繕し原因除去に取り組む。



問 ゴミの収集日に海洋ゴミの日を設けられないか。

まちづくり課長

現在はそのような計画はないが西部地区においては西部出張所で回収している。

問 子供の派遣費補助について、頑張つて勝ち進み県外大会に参加することになったとしても、現在は県外での宿泊費補助を出さない規定となっているが、出せるようにできないか。

教育委員会総務課長

県外大会の宿泊費に関しても上限を設けたうえで補助できるように前向きに検討していく。



一般質問

サーチャージのしくみ

問 安栄観光は高速カーフェリー計画を断念、従来の2隻体制とした。5年後の新造船計画はどれを優先か。

町長 事業者による変更で、意向をくみ物流・人的移動を考え進めたい。

問 サーチャージは①どのタイミングで変動か②設定はどかが決めるか③撤廃後、船賃や補助金への影響は。

政策推進課長

国ガイドラインでは①基準燃料価格より一定額以上高騰した分を調整し発令される②船会社の権限で国に申請、許可が出る③現在波照間間2860円、撤廃で920円。差額1940円は離島航路で赤字補填される。撤廃後の補助金減のペナルティ除外に取組む。

機器オルステックの実験結果と見解

問 細崎の結果と機器輸送費等の費用は。

まちづくり課長

排煙改良で2ヶ月停止 11月28日まで再延長した。12月2月で大・中・小混ぜ3294袋処理。費用は業者負担で電気や設置費で町支出約30万。

問 どの位データ期間が必要で、求める焼却炉と他社機械の調査は。

町長

1日の稼働時間や処理量などの数値化で、連続運転し3ヶ月は欲しい。高コスト、分別の煩雑

性、生ゴミの改善で島内処理をめざす。作業効率や水蒸気(排煙)の人体・環境への検査、付随の排煙装置やゴミ出し周知で問題ないと認識。古来手法で自社内処理実績が一番よく実験を続けたい。

問 新機種の改善点は。それで再実験か。

町長

水蒸気は装置付随でほぼ視界ゼロ・臭気もない状態で、現機器にも取付、実証で新機種と同じになる。

問 アンケート回収率や詳細を。

まちづくり課長

約40世帯内13件、分別が減り満足意見が多い。

問 生ごみ処理機の購入補助金96万の内容と理由は。

まちづくり課長

家庭用コンポスト30000円×20台16万円と機械式処理機3万円×30台を想定。

町長

町内のコンポスト51基は機能せず要望も多い。機器の負担減と導入歳月も考え決定した。

要望 町内では過去に家庭用コンポストを導入したが、害虫の発生や処理時間が長く、現在の大型になった記憶だが、繰り返さぬようしてほしい。

家電廃棄処理の対策

問 ゴミの仕分け・出し方のチラシにはリサイクル品の冷蔵庫・エアコン・テレビ・洗濯機は各島の代理店へとあるが連絡先記載がない。各島にあるか、利用状況は。

まちづくり課長

西表東部に1箇所、市内業者代理店で利用は多いと考える。チラシ等は早急に対応したい。

問 不法投棄の周知や防止活動、今後の考えを。

まちづくり課長

看板設置やパトロール、保健所や警察職員と現地確認しており、公式ラインやホームページ等活用し犯罪だと周知を図る。料金は高額との認識で、補助金も検討したい。

問 町長が行った放置自動車や金属回収は、画期的だったと評価している感謝の声があったがその思いは。

町長

個人では廃棄も難しく事業を活用し一斉に出したいと考えて、今後適宜適正に搬出したい。

無料送迎車 空港⇄集落⇄港間・運転手も検討

問 空港⇄集落間の無料送迎車が開始、搭乗率も期待される。町長ユンタク会で港までの区間追加と会計年度職員で運転手の話は。

政策推進課長

港間ルートは運行や体制も見ながら、運転手は集落支援員も検討中。

政策推進課長

原則は町民・住民だが、空席時は無料に乗せている。

新たな管理で耳標取付を支援

問 耳標手配中で、取付器具は出張

所保管だが借りる方がいないという。飼養者名簿を出張所に提供、受付させ取付終了後、職員が次へ連絡する案はどうか。

農林水産課長

頭数届書受付や耳標配布を出張所が協力、管理を進めている。

問 オスは暴れる事もあり首輪が簡単だが、切れて野ヤギとの判別がつきにくい。取付支援や首輪の選択・提供は可能か。

農林水産課長

首輪も可能だが提供はない。困難な時は農林水産課で対応したい。運用委員会設置し課題に取組む。

役場主導の公園計画で東屋を

問 ムシャーマ公園遊具近くに、子供を見守る東屋の取組みを。西表東部と西部には立派な公園があり、細崎にも遊具等整備費が計上された。公園整備は役場主導で必要性を判断、均衡ある計画的取組みが必要だ。

まちづくり課長

うなり崎公園が来年まで、小浜・黒島の計画もあり関係課と対応したい。

町長

町はこれまでに公園・スポーツ施設整備計画はないが必要な所は進めたい考えで、複合施設の遊具拡大を提案している。

要望 公園内U字溝花壇の撤去要望があり、遊具側ムシャーマ行列が通る道路沿いのベンチに再活用したい。



みつ もり かつ み
三盛 克美 議員

◀詳しくは動画を Check!!

スバウ! 町政を問う!!
6月定例会

一般質問

西表島農産物の出荷整備と維持・管理支援について

問 出荷施設の老朽化について、町の認識は。

農林水産課長

西表島東部の出荷施設は昭和56年整備から44年が経過し、天井や壁の劣化が進んでいる。早急な修繕や建て替えの必要があると認識している。

問 新たな出荷施設の整備を生産組合が断念した理由と町の受け止めは。

農林水産課長

施設利用料の負担が大きく、高齢化や費用負担への不安から、生産組合は整備を断念。町としては、農家の経済負担軽減と持続可能な農業振興の観点から、この決定を重く受け止めている。

問 整備そのものはもう行わないのか。

農林水産課長

施設整備の必要性は認識しており、農家や関係機関と協議し、実効性のある支援体制の構築を目指して検討を続ける。

問 施設整備後の維持管理について、町の支援策はあるか。

農林水産課長

農家の負担軽減を図るため、維持管理のあり方について再度協議を行い、無理のない形での運営ができる仕組みを検討していく。

問 年間利用料や費用の見込みは。

農林水産課長

施設整備費は約3億円を想定。

町が耐用年数で割って算出した年間利用料は約70万円。ただし、電気・水道等の光熱費については現時点で未算出。

要望 農業が安心して利用できるよう、費用負担の不安を丁寧に解消していく必要がある。維持管理を含めた柔軟な支援策を要望する。竹富町の農林水産物は、どれも町の宝。タ張メロンのようにブランド化できる可能性もある。施設を「建てて終わり」にせず、若い世代が農業を続けたいと思える環境を整備してほしい。町には、農業者の努力にしっかりと光を当てる支援と希望を届ける行政運営を強く求める。

鳩間島へ上原航路ダイビング船の活用について

問 ダイビング船の活用は毎日運航の予定か。

政策推進課長

現在は毎日運行を想定しているが、予約状況や需要を見ながら地域・業者と調整していく。

問 何業者が協力する予定か。

政策推進課長

まだ確定していないが、1〜2業者の協力の意向があり、これから具体化を進める。

問 住民への周知や運行開始はいつ頃か。

政策推進課長

昨年度から住民との意見交換を続けており、協議が整い次第、地域に説明を行う予定。

要望 生活の足として重要な取り組み。将来的な船の導入も見据え、まずは確実に実行してほしい。

マルバネクワガタ採取規制強化に向けた動きは?

問 マルバネクワガタ採取による自然破壊や住民トラブルが深刻だ。審議会の開催や進捗は。

自然観光課長

条例改正に向けた課題整理や外来種対策などを進めている。審議会には必要に応じ、適切な時期に開催予定。

問 審議委員はどのような方が選ばれるか。

自然観光課長

昆虫や法律、環境に詳しい専門家を5人程度想定している。国・県の関係者や学識経験者も加え構成する。

問 昨年のアンケートでは「住民とのトラブル」が最多だったが、町の受け止めは。

自然観光課長

住民の不安や意見は重く受け止めている。条例改正や適切な規制執行により、トラブルの回避を図りたい。

問 採取シーズン前の9月までに審議会開催は間に合うか。

自然観光課長

9月議会前の開催を視野に、早期に審議会を開き、必要に応じて条例改正や告示で対応したいと考えている。

町営住宅の近傍同種家賃について

問 近傍同種家賃とは。

まちづくり課長

公営住宅法に基づき、民間賃貸住宅と同程度の家賃になるよう、建築費や構造、年数などを基に算定されている。

問 町内で近傍同種家賃が適用されている世帯は。

まちづくり課長

令和6年3月末時点で、1世帯が近傍同種家賃を適用されていたが、既に退去済み。

問 最も高い低い団地の家賃はいくらか。

まちづくり課長

最高は昨年度整備の小浜島の細崎団地で月額28万3,100円、最低は大富団地で月額6万4,600円。

問 収入増で家賃が倍になる事例への対応は。

まちづくり課長

制度上、収入超過者には近傍家賃が適用されるが、町単独での家賃見直しは厳しい状況。

問 町単独で家賃軽減の仕組みは。

まちづくり課長

現行制度では、独自の軽減は困難だが、国の制度見直しに合わせて今後も調査研究を続けていく。

要望 離島の高い建設コストが考慮されない原稿の家賃制度は不合理。国や県に対し、地域の実情に即した補正の必要性を強く訴えていただきたい。



やま した よし お
山下 義雄 議員
 詳しくは動画を **Check!!**



熱中症対策義務化による 対応を問う

まちづくり課長

防災危機管理課長

環境省と気象庁が暑さ指数(WBGT)³³以上を予測した際に発令される「熱中症警戒アラート」を町公式LINE等で住民に通知している。

学校現場及び消防団等における熱中症対策を求める

教育委員会総務課

町内の学校には既に暑さ指数計を配布、基準値を超える際には運動を控えるよう通知している。教室のエアコン設置率は100%で、故障時にも迅速に修繕対応している。全小中学校にウォーターサーバーが設置済みで、児童生徒の水分補給は確保されている。

要望 非常に素晴らしい状況で子

どもたちも喜んでいてと思う。一方で体育館にはエアコンがなく、バドミントン等競技によっては窓を締め切る必要があり、非常に過酷な環境で競技が行われていた。大型送風機の導入や運動会・遠足・陸上大会等の時期変更といった柔軟な運営も必要だ。さらに校舎や体育館は災害時の避難所としても活用されるため、学校全体の冷却・遮熱など施設改修が必要だと考える。

問 消防団や自主防災組織、公民館などの地域拠点においても、熱中症対策が十分ではなく、OS-1（経口補水液）やアイシングバッグなどの備蓄が必要ではないか。

要望 熱中症対処方法の習得や知識の普及が重要で、特に子どもや高齢者に対しては、冷却の正しい知識や危険な行為(例:急激な冷却や車内放置)を避ける教育が必要だ。

住居の冷房環境整備への 対策を求める

問 室内の冷房環境整備が命を守ることになる。住宅リフォーム支援事業の活用は熱中症対策として、エアコン導入も補助対象にしてはどうか。

まちづくり課長

現在も断熱改修に対する補助制
度がある。

要望 熱中症対策には、高齢者や子育て世帯、低所得者層への冷房整備支援をさらに強化すべき。「クーラーが苦手」「電気代が高い」等の理由でエアコン導入を拒む住民への啓発も必要だ。

水稲生産安定化に向け 早急な対策を求める

問 水稲農家はスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）により甚大な被害を受けている。西表島西部の水田地帯は慢性的な水不足もあり、水稲の生産環境が脅かさ

れている。水不足解消やスクミリンゴガイ被害軽減への支援は。

農林水産課長

今年度、砂防ダム浚渫と、アーラ地区灌漑施設の管路改善を行う予定。スクミリンゴガイについては石灰と薬剤による防除を計画中。



水上安全条例改正へ 町の対応を問う

問 水上安全条例改正に伴い、船上での見張り要員配置義務化が検討されているが、現場は経営が非常に困難になる。ダイビング組合からの請願をどう受け止めているか。

自然觀光課長

条例改正に関する有識者会議において、事業者に多大な影響があり経過措置を設ける等配慮が必要との意見もある。町としてもそれらを踏まえ条例改正の動向を注視していく。



うえ もり まさ ひで
上 盛 政 秀 議員
◀ 詳しくは動画を Check!!

スバウィ!
町政を問う!!
6月定例会

一般質問

**ガードレールの危険箇所
は早急に修繕を**

問 小浜島の県道と農道が交わる箇所のガードレールが腐食し、支柱が浮いて危険な状態。観光客の目にも入る場所であり、台風時の飛散も懸念される。現状の認識と修繕の計画について伺う。

まちづくり課長 当該箇所は県道に関わる場所であり、以前より県に情報提供を行ってきた。改めて現場を確認し、修繕要望を行っていく。修繕は危険度や緊急性に基づいて順次対応しており、予算の範囲内で優先順位をつけながら進めていく。

要望 県道と町道の管轄が曖昧なままでは対応が進まない。県との連携を強化し、必要に応じて町が先行して対策を講じることにも検討すべき。観光客や自転車利用者の安全確保のため、落下防止措置を含めた早急な対応を求める。

問 複数の未舗装道路で整備が進んでいない箇所がある。今年度の整備計画と今後の見通しについて伺う。

まちづくり課長 未舗装道路の整備については、危険度・交通量・生活性を考慮して優先順位を定め、順次対応している。

ている。令和7年度は大高地区の道路整備を予定しており、他地区についても今後順次整備していく。

要望 生活道路として重要な未舗装道路については、できるだけ年度内に多くの区間を整備してほしい。現地の実情を踏まえた柔軟かつ迅速な対応を期待する。



**さとうきびの安定生産
に向け、機械化導入を
急ぐべき**

問 昨年度のビレットプラントの申請は採択されなかったが、導入が遅れたことで植え付け時期が11月中旬となり、収穫量にも影響が出ている。今年度の申請状況と、早期導入に向けた取組について伺う。

農林水産課長 ビレットプラントについては、令和7年第二次募集で再申請する予定。石垣島からの移動で遅れていた植付作業を早められるよう、JAと連携して対応する。

**循環型ごみ処理施設の
実証実験と今後の
整備方針**

問 ごみ処理機の故障原因となつた金属の混入を防ぐ対策は検討しているか。また、排煙に含まれる成分の調査は行っているか。

まちづくり課長 現在は人の目による確認に頼っており、金属探知機のような機器導入はしていない。排煙については、専門機関による成分分析を今後実施する予定であり、その結果を踏まえて対応を検討する。

要望 再発防止に向け、金属混入対策を早急に講じるべき。分別を元に戻すことは現実的ではなく、循環型処理の仕組みを町全体に広げるよう、早期の複数台導入と専用建屋の整備を進めてほしい。

**堆肥処理施設の整備と
畜産廃棄物の活用**

問 畜産農家からの排せつ物が処理しきれずに積み上げられている現状がある。研究と並行して、まずは町内の一力所に集積できるように体制整備は可能か。

農林水産課長 現在、一時集積場所の選定を進めており、関係農家へ通知予定。堆肥施設の整備についても、琉球大学等と連携しながら地域と協議を進めている。

小浜公園の整備計画

問 小浜島で要望のある公園整備について、進捗と今後の計画はどうか。

まちづくり課長 複合型福祉施設や構造改善センターの周辺を候補地としており、公民館との意見交換を予定している。敷地は広く活用可能性がある。

要望 隣接する保育所や高齢者施設とも連携し、地域住民の交流の場となるような公園整備を早期に実現してほしい。



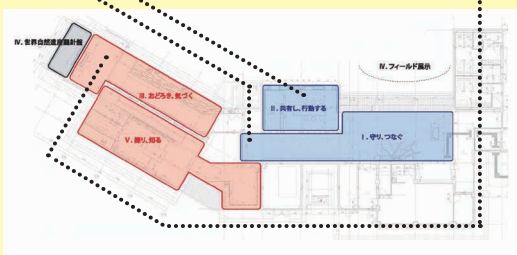
《 自然環境に配慮した世界遺産センターに 》



議案第51号 西表島世界遺産センター整備工事(設備)

【反対討論】 西表島においてガス式エアコンを導入するメリットがわからない。また、使用時にはCO2も排出されるため環境に負荷がかかることが懸念される。点検できる人材が島内にいるかも不明で維持管理費用が高額になることが懸念させる。自然の大切さを紹介する施設においてガス式エアコンを容認するわけにはいかない。

～評決にて、賛成8・反対3にて可決しました。～



《 請願・意見書を提出しました 》



水稲生産の安定化に向けた対策の早急な実施を求める請願書

西表島インダ・仲良田地区の水稲生産安定化に向けた支援を求める意見書

竹富町離島航路に係るサーチャージ住民負担の軽減を求める意見書

離島における介護サービスの是正と介護人材確保に向けた支援を求める意見書

沖縄県の離島地域における輸送費補助制度の拡充を求める意見書

議長宛の文書は議会事務局へ

議長あての文書や案内状は、議長の公務日程を調整する必要がありますので、議会事務局へお届けをお願いします。

広報編集委員会

委員長 上勢頭 巧
副委員長 大浜 一将

E-mail: gikai@town.taketomi.okinawa.jp

議会を傍聴しませんか？

傍聴受付に、複雑な手続きはありません。
詳しくは「竹富町議会事務局」

☎ 8 2 - 3 7 4 8